

第4回 和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

◇開催趣旨

和歌山県は、平成30年4月1日に「和歌山県データ利活用推進センター」を開所し、行政課題に関する研究や高等教育機関におけるデータサイエンス人材の育成、民間企業等に対するデータ利活用推進等に取り組み、日本のデータ利活用拠点になることを目指しております。

また、国においても、平成30年6月に発表された「未来投資戦略2018 — 「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革—」では、全ての大学生が数理・データサイエンスを履修できる環境を整備すると謳われ、新学習指導要領でも各世代での統計教育の充実が図られているところです。

本県では、このような昨今の情勢を踏まえ、次世代の日本を担うデータサイエンティストを育成すべく、高校生及び大学生等を対象とした「和歌山県データ利活用コンペティション」を開催いたします。

若い世代の皆さんにとって、今回のコンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

◇募集内容

公的統計データをはじめとする様々なデータを利活用した施策提案

○募集テーマ

・高校生の部・大学生の部共通

あなたがゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の観光とまちづくりに関する現状・課題を分析し、地域を活性化するための施策を提案してください。

「具体例」

- ・観光資源のブランド化による地域活性化
- ・持続可能な観光施策とは（SDGs）
- ・オーバーツーリズム問題の解消（環境汚染、治安悪化など）
- ・感染症の発生による国内・インバウンド観光、経済への影響
- ・キャッシュレス化は本当に観光・経済を活性化させるのか
など自由な視点で提案してください。

○応募要件

- ・データを分析した、エビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応募者が発案したオリジナルなもの、第三者の著作権を侵害していないものに限りします。
- ・国や他の都道府県・市町村、その他民間機関等が主催するコンテスト等において受賞歴のある作品を内容の変更なく応募することは不可とします。
- ・分析に使用するデータや分析ツールについて使用制限はございません。ただし、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、必ずその旨を応募用

紙にご記入ください。

- ・令和2年12月19日（土）に開催する最終審査会に参加可能であること。
（最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください）

○利用データ例

- ・国が作成した統計データ（政府統計のポータルサイト「e-Stat」に掲載されている統計データ等）
→e-Stat (<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>)
- ・地域経済分析システム（RESAS）を利用して得ることができるデータ
→RESAS (<https://resas.go.jp/>)
- ・各地方公共団体が公表している統計データ
- ・応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ等

◇募集期間

- 参加申込受付：令和2年4月1日（水）～10月23日（金）まで
- 応募用紙受付：参加申込受付日～10月23日（金）まで

◇募集区分

- 高校生の部（高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生）
- 大学生の部（大学、大学院、短期大学、高等専門学校4年・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生）
- ※1 高校生の部に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。
- ※2 参加については、複数人でのグループ参加も可能です。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

◇応募方法

当募集要項記載の各条件をよくお読みいただき、メールにて下記の連絡先まで参加申込書をお送りください。参加申込受付後、事務局より受付承認メールを送付いたしますので、その後期限までに応募用紙及びプレゼン資料をお送りください。応募方法について不明な点がある場合には、事務局までお問い合わせください。

- ※1 参加申込書及び応募用紙については、和歌山県データ利活用推進ホームページ (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>) からダウンロードしてください。
- ※2 プレゼン資料はPowerPointで作成し、可能な限りA4サイズ20ページ以内にまとめて下さい。記載方法は自由ですが、アニメーションは使用しないでください。
- ※3 応募方法はメールのみとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【参加申込書・応募用紙及びプレゼン資料送付先メールアドレス】
e0201001@pref.wakayama.lg.jp

◇審査の流れ

データの分析方法や、提案された施策内容等について、厳正に審査を行います。

- 第1次審査：応募された提案について、書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。審査結果は合否にかかわらず11月末までに代表者宛にメールで通知します。
- 最終審査：第1次審査通過者には最終審査会に出席してプレゼンテーションを行っていただき、厳正な審査に基づき、各賞を決定します。その後、同じ会場で表彰式も行います。

【最終審査会・表彰式の日時と会場】

日時：令和2年12月19日（土）10:00～17:00（予定）※

※午前 高校生の部、午後 大学生の部を審査し、審査終了後、表彰式を実施予定。

会場：和歌山県データ利活用推進センター

（和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17、南海和歌山市駅ビル5階）

- ※1 第1次審査の通過者は必ず最終審査会に出席してください。
- ※2 最終審査会に出席するために必要な旅費については、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき3名分（高校生の場合は指導教員1名分を追加した額（合計4名分））まで支給します。
- ※3 審査とは別にポスターセッション（B2サイズ用の紙1枚もしくはA3サイズの用紙2枚・紙質、色彩自由）ができるブースを設置する予定です。

◇表彰

- 高校生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、データ利活用賞1点（副賞として商品券5万円）、政策アイデア賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。
- 大学生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、データ利活用賞1点（副賞として商品券5万円）、政策アイデア賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。

◇著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

◇個人情報の取扱いについて

- 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、受賞者の氏名は公開することがあります。

◇本コンペティションに関するお問い合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画総務課（和歌山県データ利活用推進センター）

住所 〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17 南海和歌山市駅ビル5階

TEL 073-488-2430

FAX 073-488-2432

Mail e0201001@pref.wakayama.lg.jp

◇実施主体

主催：和歌山県